

## 琵琶湖・CO<sub>2</sub>ネットゼロ対策特別委員会 県外行政調査

1 調査日 令和4年11月1日（火）～2日（水）

### 2 調査の概要

11月1日（火）

#### （1）静岡県富士山世界遺産センター（静岡県富士宮市）

調査事項：県産材を活用した自然、歴史、文化の発信について

静岡県富士山世界遺産センターは、平成25年6月にユネスコの世界文化遺産に登録された「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」を後世に守り伝えていくための拠点施設として、平成29年度に開館した。

同施設では、「富士ひのき」として一般の住宅にも利用されている静岡県産のヒノキを100%使用した木格子を外壁に取り付けた展示棟を中心に、県産材を活用した自然、文化の発信にも取り組んでいる。

本委員会では、本年度県産材の利用の促進に関する条例の制定を目指して調査研究を行っており、今後の委員会活動の参考とするために、同施設の調査を行った。



#### （2）ふもとっぱら（静岡県富士宮市）

調査事項：キャンプ場を核にした森林活用等と一体となった林業経営について

富士山西麓に500ha超の山林を有する江戸時代からの専門林家であるふもとっぱらは、東京農業大学と連携して富士森林施業技術研究所を開設し、先導的に林業の調査研究、技術指導、普及啓発を行っている。平成15年度に社有林周辺の農場、施設をオートキャンプ場として開設し、木材生産の場としての林業とアウトドア等の森林空間利用を統合

した総合的な林業経営を行うと同時に、林業機械の展示や講演会、体験会などを通じてキャンプ場来訪者への森林、林業の普及啓発を行っている。

本委員会では、本年度県産材の利用の促進に関する条例の制定を目指して調査研究を行っており、今後の委員会活動の参考とするために、同施設の調査を行った。



11月2日（水）

(3) 米倉山電力貯蔵技術研究サイト（山梨県甲府市）

調査事項：CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会の実現に向けた取組について

山梨県では、クリーンエネルギーの活用や、自立・分散型エネルギーシステムの導入促進、県民総参加による地球温暖化対策を推進するため、東京電力や東レ株式会社と協働しCO<sub>2</sub>フリーの水素社会構築を目指し、P2Gシステムの技術開発を進めている。

本委員会は、CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進についてを重点調査項目に掲げて調査研究を行っており、今後の委員会活動の参考とするため、同施設の調査を行った。

